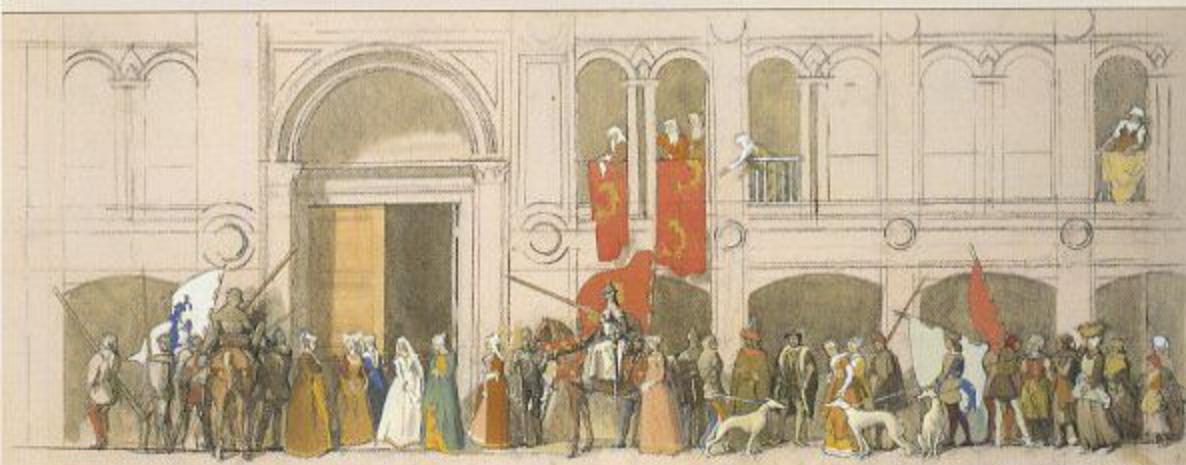


企画展

小磯良平の挿絵とデザイン展

～ Graphic Arts Works of Koiso Ryohei ～

1997年8月8日 金 ▶ 9月28日 日



「騎士の門出」(元宝堂大劇場紙帳原画) 1976年 個人展



「第1回神戸みなとの祭ポスター」1933年



「しろばんば」挿絵原画より お茶の水図書館蔵

■同時開催

収蔵作品展Ⅲ
(展示室1)

神戸市立小磯記念美術館 (展示室2、3)

〒658 神戸市東灘区向洋町中5丁目7

TEL 078-857-5880

- 開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 毎週月曜日(ただし9月15日(祝)は開館)、9月18日
- 交通 / 新交通六甲ライナー「アイランド北口駅」下車すぐ
- 入館料 (JR住吉駅から7分、阪神南塚駅から徒歩5分)

	個人	団体(30名以上)
一般	200円	160円
高校・大学生	150円	120円
小学・中学生	100円	70円



「新女苑」表紙 1937年3月号、4月号 実業之日本社発行 個人蔵



「KOBÉ, THE AMERICAN HARBOUR」兵庫県公館タペストリー原画
1909年 兵庫県公館蔵



「稲口一葉作品集」第二巻 1951年 創元社発行

小磯良平は、新聞や雑誌の連載小説のために多くの挿絵を描きました。「新女苑」「婦人公論」「週刊朝日」などの雑誌の表紙画を手がけたことでもよく知られています。

また、「神戸みなとの祭」のためのポスターや、神戸文化ホール（1973年～）や宝塚大劇場（1976～1985年）の舞台を飾った緞帳のデザイン、書籍の装幀もおこなうなど、小磯良平がデザインの分野で手がけた仕事は多岐にわたり、私たちの身近に今も息づいています。

本展では、1960～62年に「主婦の友」誌に連載された「しろばんば」（井上靖 著）のために描かれた挿絵原画から30点を特別出品するとともに、緞帳 装幀原画、書籍 雑誌資料などを展示し、小磯良平が生み出した豊かなグラフィックの世界を紹介します。

小磯良平の筆による挿絵の生き生きとした魅力と、時代と風俗が伝わる作品群をお楽しみ下さい。

会期中学芸員による解説会をおこないます。
日時：毎週土曜日午後2時より
場所：美術館2階絵画学習室にて

★会期中一部展示替をおこないます。

・ 次回展覧会のご案内 ・

'97 10月4日(土)～12月7日(日)

特別展 ～パリの熱情とロマン 色彩の巨匠～

関口俊吾回顧展 <展示室2・3>

関口俊吾（1911～ ）は、神戸市に生まれました。鹿子木孟郎に絵画を学び、1935年、フランス招聘留学生として渡仏、パリ国立高等美術学校に入学しました。第二次世界大戦中は一時日本に帰国するものの、終戦後再び渡仏し、フランスで活躍している画家です。本展では、フランスの評論家に「声無き詩人の画家」と形容された明るく叙情的な作品、118点によって関口俊吾の遺業を紹介します。

● 同時開催 収蔵作品展Ⅳ <展示室1>



関口俊吾「花と乙女」1939年 個人蔵